

4月所感

希望は人を導く信仰である

狭山市立教育センター

所長 鈴木 浩明

桜花爛漫の春となりました。子供たちの進級や入学を祝うかのように草木に美しい花が咲いています。冬の間、暖かな日差しをじっと待っていた木の芽もふき、何かに挑戦したくなるような衝動を覚えます。新しい年度、平成29年度が始まりました。

4月は新たな気持ちで物事を始められる月です。希望をもって行動に移しやすい月でもあります。



希望は人を導く信仰である。

希望がなければ何事も成就するものではない。

ヘレン・ケラー

ヘレン・ケラーは、1880年アメリカ・アラバマ州のタスカンビアというところで生まれました。彼女が2才の時、熱病にかかり、目も耳も不自由になり、口もきけないという三重の障害を負ってしまいました。しかしヘレンは、アンヌ・サリバン先生の絶え間ない努力と献身的な教育によって、言葉を覚え、知識を得て自分の世界を広げていきました。そして、その一生を心身障害者の救済に捧げたのです。どんな苦労があっても、希望を失わなかったヘレン・ケラーのこの言葉には感動を覚えます。

みなさんも、希望をもって、自らの目標の達成に向けて努力してください。目標に近づくことで、成長するのです。希望をもてず、目標をもって努力しなければ、大きく成長することが出来ません。希望がないと、心の中が暗くなってしまいます。

希望をもつことで、心の中が少しでも明るくなって、元気ややる気が湧いてくることも多々あるでしょう。みなさんが、希望に満ちた4月を迎えられるよう応援します。

教育センターは、本年度も引き続き、さやまっ子の健やかな成長を信じて、職員一同全力を尽くしてまいります。

本センターでの事業への御理解、御協力のほど宜しくお願いいたします。